

地球温暖化ガスの削減

シチズングループは、2001年にエネルギー削減分科会を設置し、早い時期からさまざまな省エネ施策を実行しています。

温室効果ガスの排出削減

CO₂排出量の削減を効率的に、着実に進めるため、シチズングループでは「エネルギー削減分科会」を設置し、各事業所の事例を発表し合い、互いに有効な活動を取り入れながら省エネ活動に努めています。

2007年度は、グループ全体のCO₂排出量を「売上高原単位で2006年度比1%削減」「総量2006年度比2,500トン削減」という目標に対して、総量は1,800トン削減しましたが、売上が約10%減少したことにより売上高原単位で10%増となりました。2008年度は、引き続きグループ全体で売上高原単位1%削減をめざします。

CO₂以外の温室効果ガス(5ガス)については、「地球温暖化対策推進法」の改正に伴い、2006年11月に公表された環境省の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に沿って、2006年度分からグループ各社の使用・排出量データを算出しました。その結果、グループ全体での排出量は、CO₂換算で、2006年度602トン、2007年度575トンとなりました。これは全CO₂排出量に対して0.5%になります。

事例紹介 シチズンビジネスエキスパート

蓄熱式ヒートポンプシステムの導入

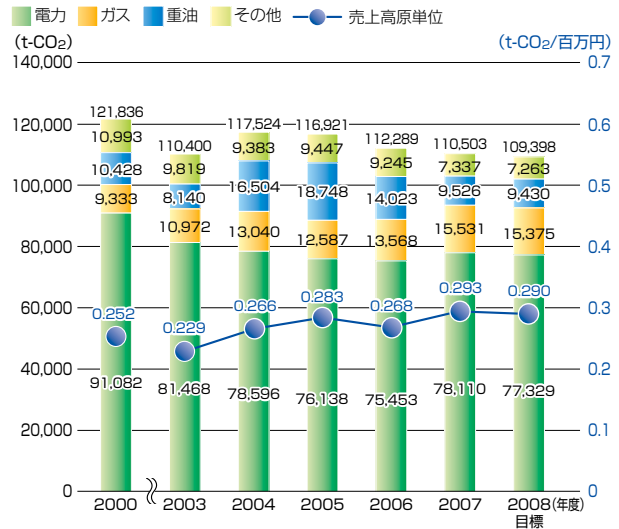
シチズンビジネスエキスパートでは、エネルギー使用量を削減するために、老朽化した吸収式冷温水発生器を高効率の蓄熱式ヒートポンプ空調システムに変更しました。夜間の安価な電力を使用して氷や温水をつくり、昼間は蓄熱層に蓄えた氷や温水を冷暖房に利用するシステムを用いることで、電力のピークカットを図ることができます。

CO₂排出量は、導入前の113トンに対して、55トンとなり、半減することができました。



蓄熱式ヒートポンプシステム

シチズングループのCO₂排出量推移



事例紹介

シチズン埼玉

5つの活動で電力使用量の削減を徹底

シチズン埼玉では、次の5つの活動で省エネルギーに努めています。

- ①全体集会での節電意識向上活動
- ②コンプレッサー等の運転時間削減
- ③省エネルギーパトロールの実施
- ④照明器具老朽更新に伴う省エネ機器の導入
- ⑤空調設備の老朽更新に伴う省エネ機器の導入

2007年度はこれらの取り組みと好調な売上にも支えられ、2006年度に比べてCO₂排出量を売上高原単位で13%削減することができました。

今後も削減を継続できるよう、設備に自動停止機能をつけたり、照度データに基づく照明器具のさらなる削減などを実施し、一層の省エネルギー化に挑戦していきます。



省エネルギーパトロール

事例紹介

花都菜合精密廠

生産ラインの集結によるエネルギー削減

シチズンセイミツの中国現地法人では、従来1階と2階に分かれていたHDD用ガラス基板の生産ラインを2階に集結させて、エネルギー使用効率を高めました。

1階にあった空調設備、照明、純水製造装置を廃止したことで、年間890トンのCO₂を削減しました。